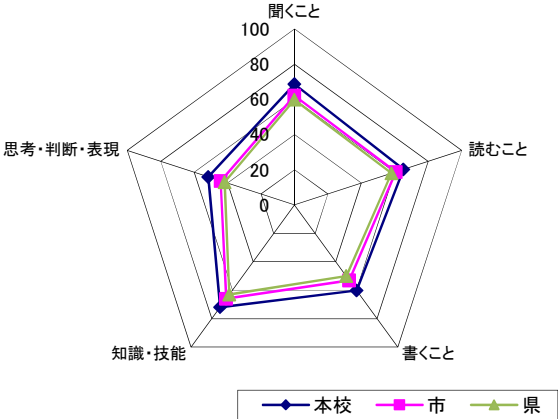


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	68.6	62.0	59.7
	読むこと	65.2	60.6	58.0
	書くこと	60.2	53.1	50.1
観点	知識・技能	72.0	66.0	63.0
	思考・判断・表現	51.5	44.1	41.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○平均正答率は68.6%と県の平均を8.9ポイント上回った。 ○対話文を聞き取り適切に応答する問題では、県の平均を大きく上回った。 ●英文の要点を聞き取る問題について県の平均を上回ったが、正答率は高いとは言えない。	・ウォームアップとして、スモールトークを取り入れ、リスニング能力の向上に取り組む。 ・普段の授業やテストの際、長い英文を聞き取る問題を取り入れる。
読むこと	○平均正答率は65.2%と県の平均を7.2ポイント上回った。 ○英文から必要な情報を読み取り、適切な表(飲食店の広告)を選ぶ問題(比較的短い文で表にイラストがついている問題)については、県の平均を上回った。 ●対話から必要な情報を読み取り、適切なイベント(美術館の催し物)を選ぶ問題(比較的長めの対話文で表にイラストも写真もない問題)については、県の平均を上回ったが、正答率は高いとは言えない。	・教科書本文の読ませ方を工夫する。例えば、質問や読み取るポイントを先に提示してから概要や要点を読み取らせたり、先にわずかなヒントを与えて概要や要点を読み取らせたりする。
書くこと	○平均正答率は60.2%と県の平均を10.1ポイント上回った。 ○対話の流れに合う英文を書く問題では、県の平均を大きく上回ったが、正答率は高いとは言えない。 ●つながりのある3文以上の英文を書く問題での正答率は45%程度で、無解答率35%程度であった。不正答率は20%程度ということになる。	・授業内での言語活動の終わりに、自分の考えを書かせたり、文法の練習問題に取り組ませたりすることで、英語の正しさや適切さに自信を持って書けるようにさせる。